

狛江の数字 39(サンキュー)

市議会議員となりました四年前以来、月曜日朝の狛江駅で「こまえの数字」を続けてまいりました。駅で演説をしている方はたくさんいらっしゃいます。それでも、毎朝、駅を利用されている市民の皆様は大変忙しく、耳を傾けてくださるようなお時間はないとお察しします。そうであれば、毎回、狛江市の行政上にまつわる数字を一つだけ切り取って、それだけをお伝えしようと心に決めました。テーマは狛江市にまつわる話ですが、基本はアトランダムです。



春であれば市内小学校の新入生の数であるとか、狛江市予算の季節になれば一般会計予算額といった具合です。私の政治団体は「狛江で分かりやすく政治を伝える会」という名称です。選挙で選ばれた政治家であればこそ、市民の皆様に少しでも狛江市の行政の話題をわかりやすくお伝えしたい、そういう思いから名付けました。中面でご紹介しました通り、私の「市政リポート」は市内の新聞購読世帯へのオリコミ配布をしておりまして、15回発行いたしました。こまえの人と人をつなげたいという思いから名付けた「こまつなNEWS」は、駅から通勤されている市民の皆様向けに編集しております。今号の発行で(号外も含め)全部で24回となりました。三宅まことの4年間、「伝える」を続ける活動は39回となりました。読んでいただいた市民の皆様に39(サンキュー)という思いを込めて、御礼申し上げます。並びに、これからも三宅まことの活動に関心を寄せていただけますようお願い申し上げます。

プロフィール

1987年 4月 社会へ
立教大学経済学部卒業後に株式会社東急エンジニアに入社、以来営業職として、テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、インターネット広告、イベント企画運営、CM制作等に携わり、人と人のコミュニケーションの大切さ、難しさを学ぶ。

2012年 5月 転職
同社にて120名の社員を率いるプロジェクト運営中に、妻が病気を発症し、要介護、障がい者認定を受けたことに伴い、介護のために休職。2014年3月に27年間勤務した同社を退社。同時期に自身も長期入院を経験したことから、社会保障制度の重要性を体感する。その後、介護初任者研修、介護事務、実務者(介護上級職)研修修了、同行援護従業者の資格取得。現在、介護ヘルパーとしても就業中。



2015年 4月～ 現在
狛江市議会議員選挙で、無所属新人候補として立候補。得票数で全体2位の1871票で初当選。建設環境常任委員会を経て、現在は社会常任委員会に所属。

政治評論家、故三宅久之の三男。
著書：「愛妻納税墓参り 家族から見た三宅久之回想録」(平成26年イースト・プレス社)

みやけ まこと
三宅 真
1964年7月生まれ、54歳

民間視点で新しい狛江を目指す！

こまえをつなげる こまつなNEWS

Vol.23
2019年04月08日
発行号
発行：責任編集
狛江市岩戸北3-18-8-701
狛江で分かりやすい政治を伝える会

